

## タカラバイオ株式会社 平成29年3月期 第2四半期決算説明会 質疑応答内容

平成28年11月14日（月）

野村證券日本橋本社講堂（東京都中央区）

回答者 代表取締役社長 仲尾 功一、専務取締役 松崎 修一郎

**買収提案を行っている WaferGen 社について状況を教えてください。当期の見込みは営業赤字のようですが買収した場合の影響などを教えてください。**

先方の株主総会が、米国現地時間の 11 月 15 日に予定されています。当社としては株式所得に関する当社提案が承認されることを期待しております。今後のスケジュールですが、株主総会で承認されれば、同社の 2016 年 12 月期決算が 2017 年 2 月に確定し、買収条件が確定する見込みで、クローリングは 2017 年 3 月を予定しております。当社業績へのインパクトが出てくるのは、来期以降になります。このような状況ですので詳細を申し上げることはできませんが、既に日本においては同社製品を販売するなど、買収のシナジーを見いだせるポイントは、幾つか見出しております。今後、進捗がありましたら、改めてご説明申し上げる予定であります。

**中国政府の細胞免疫療法に関する方針変更について教えてください。**

中国国内で細胞医療に関連するネットの偽装広告をきっかけに、2016 年 5 月頃から当局が同治療をストップする方針を打ち出しているようです。当社を含め、関連企業や医療機関等が影響を受けています。当社の場合は、細胞培養用培地・バッグなどの消耗品販売が影響を受けて売上を落としています。中国での細胞免疫療法の方針が変更され、治療が再開される時期について、現時点では目途がたっていないと聞いています。再開時に備えて、品質や安全性を認証する、日本や米国の規格や制度を利用する準備を進めています。しかしながら、再開まで時間がかかる場合を想定して、2017 年 3 月期の売上見込みから関連製品の売上は除外しています。

**CD19・CAR プロジェクトの状況を教えてください。**

日本で初めての治療法ということもあり、PMDA と相談しながら安全性に関する非臨床試験などを追加し、慎重に準備を進めています。米国で類似の試験が当局によりクリニカルホールドの処置を受けたようですが、すぐに解除されており、このことが当社の試験開始準備に影響を与えているということはありません。当初計画の通り、本年度中に試験を開始する予定です。

**NY-ESO-1・siTCR プロジェクトについて、カナダで治験を実施する目的を教えてください。**

カナダでの治験において投与実績を少しでも多くつくり、まもなく開始予定である、日本国内の第Ⅰ/Ⅱ相臨床治験を促進したいと考えています。現時点で、当社自身がカナダでの商業化は計画しておりません。もし、提携等を希望されるパートナーがあれば、検討したいと考えております。

**HF10 の提携方針に関して聞かせて下さい。ライセンスアウトを行う際に地域や疾患を限定して行うのでしょうか、もしくは、一括でライセンスされるのでしょうか。**

様々な可能性があると思います。現時点でライセンスの方針をかためている訳ではなく、原則、その都度検討したいと思います。しかしながら、提携を行った場合であっても、HF10の製造に関しては当社で実施してまいりたいと考えております。

**ゲノム編集技術を遺伝子治療に利用する計画などについてお聞かせ下さい。**

ゲノム編集については、基盤特許を有するブロード研究所から研究分野に関してライセンスを受けています。当社としては、基盤特許の応用分野を中心に独自の技術開発を進めています。当社独自の技術をもって、研究分野や臨床分野への応用を図ってまいりたいと考えております。

以上